

肌と腸の健康対応素材 北海道タモギセラミド

肌と腸の
現状

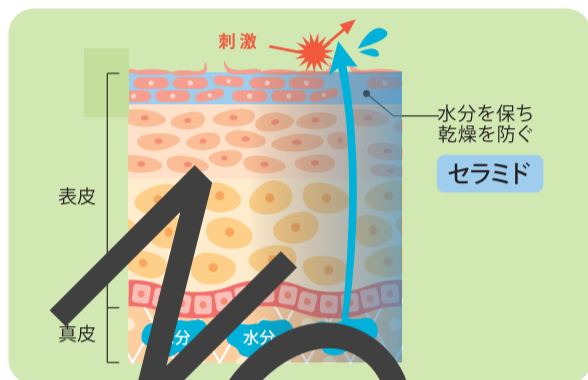
意外とデリケートな腸

腸には神経細胞が多くデリケートで、身体の健康を保つために重要な器官です。食生活や生活習慣の変化、ストレス、老化などで瞬間に腸環境は乱れてしまい、腹痛や下痢など身体に様々な影響を及ぼします。腸環境が悪くなると、肌のコンディションも悪化してしまいます。



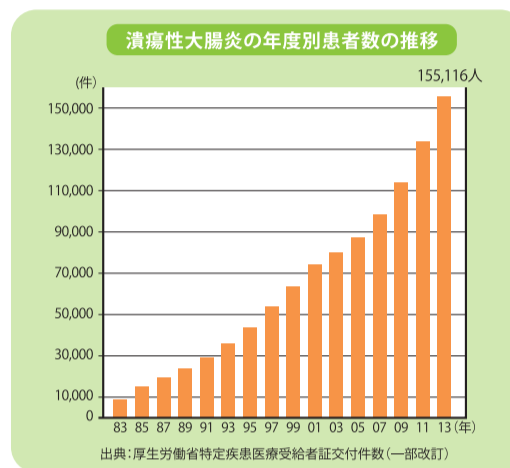
セラミドのバリア機能

セラミドは、皮膚の一番外側の角質層において水分の蒸散を調節したり、外部刺激からのバリア機能に重要な役割を果たしています。肌のバリア機能が低下すると内部の水分維持ができにくくなり、乾燥してカサカサ肌になってしまいます。



腸の慢性炎症

腸は口から入ったものが集まる場所です。体の老廃物や毒素が増えると腸はそれらを異物や敵とみなし、腸管を守ろうとして炎症が引き起こされると考えられています。炎症性腸疾患のひとつである潰瘍性大腸炎も年々増加しています。



腸の健康チェック

- キノコや海藻類をあまり食べない
- 発酵食品を毎日とらない
- よく冷たい飲み物を飲む
- 食べるのが早い
- 1日の飲み物の量が1L以下である
- お腹を押すと硬い部分がある
- 週の運動時間が180分以下である
- 眠りが浅い

当てはまる数が多いほど、腸の健康度が低いと考えられます。
出典:自社資料より

機能性素材
とは

機能性素材「北海道タモギセラミド」

エル・エス コーポレーションオリジナル素材である「北海道タモギセラミド」はセラミドの肌の保湿サポートに加え、腸の抗炎症活性が報告され、腸管保護機能が期待されています。

応用例

「北海道タモギセラミド」(粉末) サプリメント

タモギ茸由来グルコシルセラミド

タモギ茸にはセラミドを合成するために必要な材料であるグルコシルセラミドが含まれています。グルコシルセラミドとは、セラミドに糖が結合したスフィンゴ糖脂質の一種です。

タモギ茸とは

- 北海道産無農薬栽培
- 農林水産省品種登録タモギ茸を使用
- アレルギー表示不要
- 保湿効果で特許取得(第4383427号)

対応素材の
可能性

皮膚の乾燥抑制効果(マウス)

グルコシルセラミドとして185mg/kg/dayを42日間与え、皮膚水分蒸散量(TEWL)の推移を評価しました。

乾燥 ↓ 保湿 ↑
水分の蒸発を抑える

皮膚バリア機能を促進

出典:自社資料より

DSS[®]2投与と腸炎症モデルマウスへのタモギ茸抽出成分投与の効果

タモギ茸の抽出成分を配合した飼料とDSS[®]2.15%濃度飲水を自由摂取させたマウス、脾臓重量、大腸長を評価しました。

[方法] B6/cマウス 4週齢雄 室温22℃、湿度60% 12時間明暗周期12時間

DSS[®]2投与と大腸炎症モデルマウスにおける食餌性グルコシルセラミドの効果

食餌性グルコシルセラミドは炎症マーカーを抑制

出典: AraiらJ.Oleo Sci. (2015) より抜粋

脾臓の重量は減少し、大腸の収縮も抑制され、炎症抑制を示唆!

出典: 帯広畜産大学との共同データより

※1 C5/C5a, IL-1β: 炎症のマーカー
※2 DSS(デキストラン硫酸ナトリウム): 大腸炎を誘発する試薬